



# 尼崎市立立花中学校 学校だより

令和5年度11月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

## ことばを大切に

校長 前田 裕司

2学期の大きな行事、文化発表会が終わりました。

合唱、展示、舞台発表ともそれぞれが自分の力を精一杯出して頑張ってくれている姿がとても良かったです。その中には個人で取り組むことや、グループで取り組むこと、クラスや学年として集団で取り組むこともありました。一人ひとりの力は小さくてもその力が合わさって一つのものを創り上げていくとき、大きな力が発揮できるのだとあらためて実感させられました。

保護者の皆様には多数のご来校ありがとうございました。

大きな行事を終えて、生徒の皆さんには「ことばを大切にしたい」ということを意識して欲しいと思っています。

我々が普段何気なく使っている日本語はとても美しく、奥の深い、味わいのある言葉です。英語では「一人称」は「I」しかないのですが、日本語には「一人称」だけでも「私」「僕」「俺」

「自分」などなど、、、相手との距離感や関係性によって表現は変化していきます。

同じことばであっても相手への尊敬の念が現れる「敬語」や「ていねい語」、また、自分が相手より一段下がることで相手への気遣いを現す「謙譲語」などがあります。その美しい日本語、ことばも使い方一つで、人の心を温かくしたり、勇気づけたり、嬉しい気持ちにすることもあれば、人の心を傷つけたり、悲しませたりすることもあります。

発せられたことばには、ことばを発する人の心が表れています。「おはよう」とあいさつをするのでも、「おはよう」と発したことばの温かさや明るさ、あるいは冷たさを感じたり、元気があるのか、ないのかなどその人の心が表れるのです。ことばが言霊といわれるのもそのひとつです。

「ことばは力である」と言います。一言で人の命を奪うこともあれば、いい意味で人の人生を変えることもあるのです。最近、携帯電話やインターネット、SNS



によって多様なコミュニケーションの手段があります。離れた場所にいる人に対して、また不特定多数の人に対しても、簡単にことばを伝えることができるようになり、便利になっています。それだけに、顔と顔を合わせてことばを交わすときと同じように「伝えることばに心を込めること」を大切にしなければなりません。

私たちが発することばは大きな力を持っているのです。だから、生徒の皆さんには「ことばを大切にしたい」と思っています。



## 11 月 月 中 行 事 予 定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水		16	木	
2	木	3年:市内統一学力調査	17	金	
3	金	文化の日	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	3年:期末考査
6	月	逆時間割 3年:進路説明会	21	火	3年:期末考査
7	火	水曜時間割	22	水	3年:期末考査
8	水	火曜時間割 専門委員会 尼崎市英語祭	23	木	勤労感謝の日
9	木		24	金	
10	金		25	土	
11	土	きょうちくとう運動会	26	日	
12	日		27	月	1,2年:期末考査
13	月	教育相談週間(～17日) 逆時間割	28	火	1,2年:期末考査
14	火		29	水	1,2年:期末考査
15	水		30	木	

